

青少年 ひょうご

CONTENTS

- ❷ 特集PART I 40周年記念フォーラム
- ❸ 特集PART II 40周年特別寄稿（若者）
「明日のひょうごを拓く青少年の
すこやかな成長のために」
- ❹ 特集PART III ひょうご子ども・若者応援団／青年フォーラム
- ❺ 地方青少年本部だより
- ❻ トピックス ひょうご子育成・ワンコインセミナー、大都会探検隊、
第36回兵庫・沖縄友愛キャンプ、ネイチャートレッキング、
青少年活動コア・リーダー養成講習、県立神出学園、
ひょうご出会いサポート、こうのとりの会、県立山の学校、
子どもの冒険ひろば、県立いえしま自然体験センター
- ❼ 情報BOX、お知らせ

編集・発行

財団法人 兵庫県青少年本部

〒650-0011

神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8階

TEL 078-891-7410 FAX 078-891-7418

*兵庫県青少年本部は平成20年2月1日に事務所を上記に移転いたしました。

ホームページ <http://www.seishonen.or.jp/>

大都会探検隊



友愛募金贈呈



兵庫・沖縄冬朋友愛キャンプ



コア・リーダー研修会

沖縄・兵庫友愛メモリアル募金のお礼

兵庫と沖縄の友愛交流のシンボルであった「沖縄・兵庫友愛スポーツセンター」が老朽化のため取り壊されることになり、その跡地に、両県の友愛交流の継続・発展を祈念した兵庫県木のクスノキを寄贈するため、広く県民の皆様に募った友愛メモリアル募金。約五ヶ月の間に、皆様の温かいお心をたくさん頂戴し、計1,309,622円という目標額の50万円をはるかに超えた募金が集まりました。

そして、2月12日から実施した「第36回兵庫・沖縄冬朋友愛キャンプ」の斎藤副知事表敬の際、兵庫青年代表の石田幸将さんから沖縄県の青年を代表して仲村温美さんに、募金目録が贈呈されました。

兵庫県民の願いと心がこもったメモリアル募金。来る3月26日にはスポーツセンター跡地において、「兵庫・沖縄友愛記念モニュメント」除幕式とともに、クスノキが植樹される予定です。募金活動にご協力をいただいた県民の皆様、本当にありがとうございました。

【兵庫県青少年本部設立40周年記念フォーラム】開催

「明日を拓く青少年のすこやかな成長をめざして」をテーマとして、2月11日に兵庫県民会館において開催し、青少年や青少年育成関係者をはじめ県民の皆様230名に参加いただきました。(財)兵庫県青少年本部の栗原理事長の開会挨拶、来賓を代表して井戸兵庫県知事のご祝辞の後、イラストレーターの永田萌さんの基調講演とパネルディスカッションが行われました。

栗原理事長あいさつ(要旨)



兵庫県青少年本部が昭和43年に発足して40周年を迎えた。多くの皆様方のご支援、ご尽力の賜ものと深く感謝している。

今日、青少年をめぐる課題は複雑深刻化しており、県民と地域の力を青少年の育成へと結集していくことが一層求められている。青少年本部はこれを機に、設立の理念に立ち返り、組織基盤を強化するとともに、本部ならではの先駆的・基盤的な事業を充実していくための新たな一歩を刻んでいきたい。

基調講演(要旨)

明日(あした)へのバトンをあなたに



講師：永田 萌さん(絵本作家・イラストレーター)

●兵庫県青少年本部との大きな想い出は、「ひょうご兵庫青少年憲章」の草案作成委員を務めたこと。インターネットに象徴される社会の変化と同時に、阪神淡路大震災や酒鬼薔薇事件など兵庫は様々な試練を受けてきた。だからこそ、この「ひょうご青少年憲章」を、私たちの心をはっきりと形にし、未来の人達に、バトンの形で渡したいという思いが強くあった。

改めてすばらしい「ひょうご青少年憲章」だなあと思う。10年前に兵庫にこれがあることを誇りたい。

●私は、先生と呼ばれる仕事にだけは就かないと、小さいときから決めていた。でも、母校の先生になってほしいという依頼を受けた時、お断りすれば、自分が受けたものを自分の中だけで抱え込んでしまう生き方になるのでは、と思い、先生になった。

私は教わり、恩を受けたたくさんのことを、未来に返さなければいけないと思っている。絵を描く者として、絵を通して生徒たちに、未来に返していく。

生きてみなければわからない自分なりの言葉が誰にもある。未来を担う人達に勇気を持ってそういったバトンを渡すということは大切な役割なのではないか。

私のジャンルで若い才能が育ってくれることを一人の先輩としても願っている、一人の教師としても私に会えたことが生徒たちの人生のプラスの要因になれば、私にとって受けたものを未来に返すという、目に見える形の返し方の一つかなと思っている。

文責 (財)兵庫県青少年本部

青少年活動・青少年育成活動の展示

2月7日(土)から15日(日)まで、青少年交流プラザにおいて、青少年団体、NPO、地方青少年本部等24団体の活動を紹介する展示を行い、来場者で賑わいました。また、フォーラム当日は、(株)ウエシマコーヒーフーズ様、(株)伊藤園様のご協力によりドリンクサービスも行いました。

井戸兵庫県知事祝辞(要旨)



40周年を迎え、これからも兵庫の青少年育成の中核として活躍いただけだと確信しています。

最近の青少年問題の背景には、自分で生きる力が弱まっていることにあるのではないか。今一番必要なのは、異なる経験や体験をすることであり、それだけに体験教育が大切になっている。

ここでも、青少年本部への期待がますます高まっている。今後も青少年団体連絡協議会や地方本部と連携しながら、目標に向かってさらに羽ばたいてほしい。

パネルディスカッション(要旨)

これからの青少年育成活動の視点と展開 －新たなる一歩を踏みだそう－

パネラー 永田 萌 氏

岩木 啓子 氏 (ライフデザイン研究所FLAP 代表)

渡久地広一 氏 (株)JOTC常務取締役、神戸センター長

清水 勲夫 氏 (野外活動協会専務理事)

コーディネーター

速水順一郎 氏 (兵庫県青少年団体連絡協議会会長)



(今の子供や青年たちが、夢や目標に向かって生きていくために、今の社会は、何か欠けているのか、熱のこもったディスカッションが行われた。)

最後に、コーディネーターの速水さんが次のようにまとめた。

- 子ども達が自信を持てるような環境を作ることが非常に大事である。
- 一つは発想力を豊かにしてやる。大人自身が発想力を豊かにする。その視点で子ども達の発想、出来事を見てやる。「挫折する権利」も。団体活動では、リーダーがそのことを共有して、子ども達をしっかりと支えていく体制を作っていくこと。
- 2つ目は、大人が楽しく生きる、楽しく生きる姿を子どもに見せること。皆さんの温かさでそういう仲間を増やしていくという取り組みを是非していただきたい。
- 3つ目は、本物の体験。失敗、挫折、もちろん達成感も感じることができる本物の体験の機会を是非作っていただきたい。
- 青少年本部の中間支援体制では、活動のプロセスの支援や、活動の評価にも取り組んでいただきたい。

文責 (財)兵庫県青少年本部

明日のひょうごを拓く青少年のすこやかな成長のために

自分と隣人との大切にできるように

(財)神戸YMCA三田センター 松田 康之

今、世の中を取り巻く状況は、かつてないほどに暗く陰鬱な様相です。その渦中にいる大人はもちろん顔が曇り、疲弊しています。そして、そのそばにいる子どもたちは、そんな大人を見ながらやはり明るい希望を抱けずにいます。また多くの子どもたちが、自分の存在を肯定的に捉えず、自信を持てずにいるようです。隣にいる人や周りの人々に目を向け、手を差し伸べ、ともに生きていくためには、自律した「個」が大切になります。自分ごとに自信と責任を持てる人は、隣で小さくされている人のことも考えることができます。未来は、今の子どもたちが創っていきます。子どもたちが自信を持ち自立するためには、周りの人が愛情を持って接し、肯定していくことが必要です。そして子ども自身が小さな失敗も体験しつつ、成功への工夫ができるように、励まし、支援していくことを我々大人が大切にしていかなければと思います。

まちづくりは、人づくりから

野外活動リーダークラブ
キャプテン 代表 毛戸 公彦



但馬の高校生は、自分たちの生まれ育った町の将来に、どのような未来像を描いているのでしょうか。交通網が発達した町、安定した企業が多くある町、環境が良くのびのびと子育てが出来る町等、さまざまな想いがある中、今以上に住みやすく活気がある町になってほしいと、きっとそう思っているに違いありません。

毎年この時期になると、高校を卒業し8割以上の若者が但馬を離れ、ますます地域では少子高齢化が進み、地域の伝統行事や子ども会等の活動が著しく減少しています。また、地元の高校生から地域の行事に参加しないのか問いかけると、「小学生や中学生の時は大人から誘いがあるか高校生になると誘われない。」このような答えが返って来ました。

この問題を解決する方法の一つに、高校生ジュニアリーダーの育成事業を実施し田舎の良さでもある「人と人のふれあい」が大切だと考えます。地域の子どもは地域で育み地域で守る事が重要なことです。それには、多くの子ども達と接する事と共に活動が出来る環境づくりが地域の活性化に繋がると思います。高校生ジュニアリーダーの育成事業を始めて10年が経ち、現在では、高校生ジュニアリーダーのOB・OGとして地域で子ども会やPTCA、自然学校等の野外活動センターで活躍をしています。

今後は、地域を離れた若者が、生まれ育った町を好きになれるような地域づくりを行いました、生活の場所として思える地域にていきたいと思います。

「ありがとう」の力

ガールスカウト兵庫県支部
教育活動委員 荒井 恵子



活動を始めて20年、スカウト時代の経験を生かして憧れだったリーダーとして8年、子どもたちが笑顔になるきっかけを作りたい、私をここまで見守って下さったたくさんの方への感謝の気持ちを伝えたい、と思い活動を続けてきました。

指導者になってからはガールスカウト以外の活動に参加する機会も増えました。そこで出会う仲間とは年齢や活動、立場も違い、ぶつかり合い悩むこともあります。それだけつながりは強く、今の私を支えてくれる大きな力にもなっています。

また、その出会いの中で感謝することの大さも改めて感じました。「ごめん」より『ありがとう』、そう言わされたとき、少し照れくさく思いながらも、自分を受け入れてもらえた嬉しさがこれから励みにもなり、次へつなげる大きな力になります。笑顔のきっかけの一つとして、これからも『ありがとう』をもっと伝えていけるよう活動を続けていきたいと思います。

より良い社会と未来を創る青少年活動

兵庫県モラロジー青少年団体連絡協議会 前田 道亮



兵庫県青少年本部創設40周年、心よりお祝い申し上げます。

私は兵庫県モラロジー青少年団体連絡協議会・青年倶楽部のリーダーとして、「世代交流と心の生涯学習」をキーワードに活動をしております。また「ひょうご青年フォーラム」の委員として、各団体のリーダー達と切磋琢磨しております。

今年度モラロジー青年倶楽部は、青少年本部にご協力いただき、「親へ思いを届けようプロジェクト」を立ち上げました。

先日「表彰式＆青年の主張大会」を実施、世代と地域を超えて集まった親へのハガキ優秀作品を表彰し、優秀作品集を配布しました。併せて、親へ思いを語り合う青年の主張大会を通じて、親子の絆の大さを再確認させていただきました。

家族の絆、特に親子の絆を取り戻し、太くすることこそ健全な青少年を育み、より良い社会と未来を創造していく道であると信じ、今後とも仲間と共に志を胸に活動していく所存です。引き続きご指導の程 宜しくお願い申し上げます。

地域のぬくもり

ふるさと青年協力豊か会 会長 有末 拓史



「ふるさと青年協力隊」が行っている都市部の青年がこれまで但馬・播磨地域等の農山村地域に交流とボランティアを平成2年度から行って20年目を迎えます。私自身、小学校5年生で5泊6日の「自然学校」を体験していますが、それ以後田舎へ行くきっかけが殆どなく、自宅から仕事場のある神戸の狭いエリアでしか行動をしていませんでした。3年前に朝来市の「ふるさと青年協力隊」を紹介され参加してから農山村地域との関わりができ、数回訪問することが出来てきました。現代社会でパソコンや携帯電話のメールなど直接の会話が少なくなってきたが、田舎の人は会話を当たり前だと言うことを改めて実感しました。青少年のすこやかな成長のために、小学校だけではなく中・高等学校や大学でも自然や農山村地域との関わりを増やして地域の温もりを感じて欲しいと思います。

活動を通して得たもの

ひょうご青年フォーラム委員・OAA(野外活動協会)
学生ボランティアグループ「TOYBOX」 庄司 裕美



兵庫県青少年本部創設40周年、おめでとうございます。私は大学2年の時から青少年活動を始めました。TOYBOXでは、共に助け合い、励まし合い、笑ったり、泣いたりできるメンバーを、かけがえのない仲間を得ました。それはこの活動での一番大きな収穫だと思います。活動を通じて様々な方と出会うことができるのもこの活動の魅力だと思います。また、2月22日に実施された「ひょうご青年フォーラム」では委員として携わりました。ここで出会った委員は、年齢や立場、所属団体など全く異なります。しかし企画段階の話し合いを通して、根本を辿れば皆似たような想いや希望を持って活動していることを知りました。

自分が今いる場所からもう一歩進めば、今とは違うものが見えてきます。視野を広げて活動すること、そして何より、自分が楽しむことを忘れないで活動すること、これが青少年活動において重要なのではないかと思います。そして、青少年本部には青年のサポートとひょうご青年フォーラムのような青年自身がいきいと活動できる場の提供を今後も進めて頂きたいと思います。

青少年育成支援システム

「ひょうご子ども・若者応援団」事業

県内で展開されている青少年育成活動を応援するため、企業や社会奉仕団体等から提供されるさまざまな資源を、地域の青少年団体等へとつなぐ「ひょうご子ども・若者応援団」。応援団へのご登録企業は3月3日現在で32社に。また、これらの企業の皆さまからご提供いただいた資源と、青少年団体とのコーディネート事業もスタートしました。事業の様子等は、本部のホームページ上で随時発信していますので、是非ご覧ください。

なお、現在、応援団にご登録いただける企業や社会奉仕団体等の皆さまを募集中です。詳細は、下記問い合わせ先まで。

ひょうご子ども・若者応援団事務局
(財)兵庫県青少年本部 企画・情報担当
☎078(891)7410

が動きはじめました

「ひょうご子ども・若者応援団」登録団体 (平成21年3月3日現在)

アサヒ飲料(株)神戸支店、アサヒビール(株)神戸統括支社、
(株)アシックス、尼崎商工会議所、尼崎信用金庫、
イオンリテール(株)西日本カンパニー、植垣米菓(株)、
(株)ウエシマコーヒーフーズ、エム・シーシー食品(株)、
木村歯科、(株)クールアース、(株)ケーニヒスクローネ、
神戸国際調理製菓専門学校、(株)神戸夙月堂、光洋製瓦(株)、
(有)ジャーマンホームベーカリーH.フロイドリープ、
昭和商事(有)、(株)神明、(株)ドンク、(株)日興商会、
日本たばこ産業(株)神戸支店、日本ボーアスカウト宍粟第3団、
ネスレ日本(株)、ヒガシマル醤油(株)、兵庫県米穀事業協同組合、
(株)ホテルプラザ神戸、(株)ベル、三菱鉛筆関西販売(株)、
(株)ライオン事務器、六甲バター(株)、(株)ワコール、
(株)JOTC

ひょうご青年フォーラム

平成20年11月、青少年活動経験を有する青年により構成された「ひょうご青年フォーラム委員会」がスタート。学校や仕事を終えてから、青年が何度も何度も話し合いを重ねてきました。「青少年活動の魅力や課題とは?」「きっと、すぐきな未来に繋がる活動だけど、周囲に理解してもらうことが案外難しい?」各々の経験が異なるがゆえに価値観も異なり、今までの考え方や手段は簡単には通じない。このような状況のなか、委員一人一人が多大な時間や労力を注ぎ「青少年活動の活性化」に向けた共有を深めてきました。



2月22日(日)当日には、青年自身が企画・運営を行い「知ろう、話そう、感じよう!探そう、あなたの“やってみよう”」をテーマに様々なプログラムを実施することで、自分たちの想いを表現するとともに、参加者約180名全員が楽しみを分かち合い、各々が明日からの“やってみよう”を胸に刻んで帰途につきました。

人から人へ。伝え、伝わり、響き合った「ひょうご青年フォーラム」

実施に際し、青年自身の懸命な姿に各青少年団体・育成団体・関係機関などの皆様方から多大なるご支援ご協力をいただき本当にありがとうございました。



阪神南青少年本部

平成20年7月12日(土)阪神甲子園球場で「親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦」を開催しました。参加者は阪神南管内の親子600名。

昨年、一昨年は荒天により実施できなかったため、今年はより多くの応募があり、「抽選に当たりますように!」というお手紙もいただきました。

観戦当日は、暑い一日でしたが、こころ豊かな人づくり500人委員会阪神南OB会のボランティアスタッフの方々のご協力を得て、怪我や事故もなく、無事に終えることができました。

また、試合前のわずかな時間、抽選で選ばれた数名の子どもたちと阪神タイガースの葛城選手との交流会も開催することができました。

始まるまでは何を質問しようかとあれこれ考えていた子どもたちも葛城選手が部屋に入って来られると急に黙り込む様子が可笑しく、それでも選手を眩しそうに見つめる笑顔はとても印象的でした。

残念ながら、試合は広島カープに0対1で負けてしまいましたが、選手たちの懸命に戦う姿は、熱い声援を送った子どもたちに深い感動を与えたことでしょう。



但馬青少年本部

平成20年度自主事業紹介

第26回但馬サマージャンボリーは、8月10日から12日までの2泊3日、朝来市の県立南但馬自然学校で開催しました。

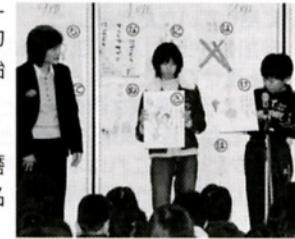
但馬青少年野外活動研究協議会のプログラムリーダーを中心に高校生以上のボランティアリーダーと但馬地域の小学4~6年生の総勢51名が参加しました。初日は舞妓式火起こし器で、火を起こし野外炊事でいも煮を作りました。2日目は竹田城跡を目指して早朝登山に挑戦しました。午後は、マウンテンバイクに乗り、与布土川まで下り、川遊びを楽しみました。キャンプファイヤーではリーダーと友人のきずなを深めました。3日間の活動を通して、但馬の自然の美しさや厳しさとふれあいました。また、集団生活を通じて仲間と協調性を育み、活動を最後までやり遂げることで達成感を味わうことができました。また、ボランティアリーダーは、子どもたちの活動をサポートすることでリーダー性を養うとともに青少年活動への理解を深める機会となりました。



東播磨青少年本部

12月13日に加古川市立青少年女性センターで、第12回東播磨・北播磨地区子ども会議を開催しました(北播磨青少年本部、東・北播磨地区子ども会連絡協議会と共に)。今回のテーマは、「身のまわりの環境問題～地球のためにできること～」で、小学生117人が参加しました。兵庫県地球温暖化防止活動推進員の真田由美子さんが地球温暖化の現状について説明後、各自が持参した電気やガスの計算書をもとに、我が家の二酸化炭素排出量をそれぞれ計算し、くらしの中で意外に多くの二酸化炭素を出していることを実感。その後、地球温暖化を防ぐため何ができるかを班ごとに話し合い、具体的な取り組みを書いた「エコ宣言」「エコかるた」を作成。全体会で披露し、お互いの力作を見ながら、地球のために「できることから始める」ことが大切だと学びました。

1月24日には東播磨生活創造センター「かこむ」で東播磨青少年本部の賞贈呈式を開催。東播磨地域の青少年健全育成に貢献された1団体18名の皆様に対して賞が贈されました。



淡路青少年本部

2008年度自主事業の展開について

近年青少年問題は複雑化、多様化がすすみ、短絡的な行動から凶悪事件を起こしてしまうことも少なくありません。

そこで淡路青少年本部としては、青少年が異年齢世代や地域の方と交流する機会をもち、コミュニケーション能力や仲間意識が培われる機会を地道に提供していくことが青少年の健全育成に繋がるものと考え事業を展開しています。

本年度は、幼児から小学生を中心、ウォークラリーや手作りアトラクションを楽しむ『ファミリーふるさと学び塾』、島内外から若者を中心とした22団体が参加し、音楽、舞蹈、和太鼓、阿波踊りなど多彩なステージパフォーマンスを発表する『島っ子ステージ2008』、幼児から小学生と保護者、地域の方が参加し、登山や集団ゲームを楽しむ『淡路島みんなでウォーキング』、小学生が参加し、地元の歴史についての話やクイズをしながらウォーカリーを楽しむ『ツールド淡路』など参加体験型の事業を多く開催しました。



(淡路市東山寺)

西播磨青少年本部

青少年活動ボランティア研修を行っています。これは、地域活動をするには、それなりの技術が必要だからです。

子供を相手に、その心を開かせ関心を向けさせるためにゲームなど様々な仕掛けをする必要があります。

これまで、レクレーションゲーム、バルーンアート、手品、自然木を使ったクラフト、面白実験、冬の野遊び、人形劇などを実施し、参加者から役に立つと喜ばれています。

最新のテーマは、「心をつかむ話し方～キラリ☆自分力アップ」。応募者が殺到、聞くことの大しさ、表情、マナー、服装から気を付けること、発声練習まで幅広く、参加者は学びました。

今後も、500人委員会と同様、役に立つ技術の提供を行っていきたいと考えています。



ひょうごっ子育成・ワンコインセミナー

兵庫県青少年本部と兵庫県青少年団体連絡協議会では、現在の青少年の特徴や青少年を取り巻く生活環境に対する理解を深め、青少年育成のために家庭や地域等でできることを考えたり、子育て等について悩んでいることなどを話し合う機会を広げるためひょうごっ子育成・ワンコインセミナーを開催しています。

これは毎月、月1回第3木曜日に開催されているもので、第1回目は兵庫県インターネット安全安心利用促進協議会会長の三好 成明氏を講師に迎え「ケータイ・インターネットで何が起こっているか!問題と対策!」をテーマに実際の青少年に対する有害サイトを参加者に実際に見てもらしながら、問題とその対応策について話していただきました。

参加者からは「初めて、実際の有害サイトを見せていただき、こんなにも簡単にこのような過激な画像を子ども達が見ることができる環境にあることが大変ショックだった。これは本気で考え直さなくては。」といった声が聞かれました。



第36回兵庫・沖縄冬期友愛キャンプ

沖縄との友愛の絆を繋げようと、昭和48年より毎年夏と冬に実施している友愛キャンプ。2月12日～15日に行った今回の研修には、兵庫青年18名、沖縄青年15名の計33名が参加しました。

前半の2泊3日は兎和野高原野外教育センターでの交流活動や、ハチ北高原スキー場でのスキー研修。生まれて初めて雪を見る、という沖縄青年もあり、白銀のスキー場で過ごした一日は、参加青年にとって大変有意義なひとときとなりました。

その後、兎和野を後にし、世界文化遺産である姫路城や、人と防災未来センターを見学。生々しい当時の復元映像や復旧の様子を表した展示物に、沖縄青年だけでなく、兵庫青年達も食い入るようにみつめていました。

あっという間の三泊四日でしたが、両県の青年の間に芽生えた友情の絆は堅く結ばれ、神戸空港での見送りの際に別れを惜しむ青年達の姿がありました。



青少年活動コア・リーダー養成研修

今年は「次の世代を育てる青少年活動って」というテーマをもとに、1月24日～25日の1泊2日の研修を、兵庫県自治研修所で行いました。15名の参加者は、最初緊張した面持ちでしたが、講師の方のお話やアイスブレイキングでだんだん緊張がほぐれてきた様子でした。

研修も中盤に差し掛かった夕暮れ時。講師から出される課題に四苦八苦しながら各班で時間が過ぎるのも忘れて、熱心に討議する参加者たち。

課題の一つひとつは考えれば考えるほど奥が深いものでしたが、参加者一人ひとりが真剣に取り組み、そしてチームで熱心に討議しながら最後に発表を行う皆さんの顔は、達成感で生き生きと輝いていました。

ここで学び、考え、取り組んだこと、そして仲間と協力して課題を達成したこと、全てが参加者の大きな財産となった、実りある研修となりました。



大都会探検隊

大都会探検隊は、田舎に住む子どもたちが、都会に住む子どもたちと都会での様々な体験活動や交流活動を通じて自立心や社会性(マナー等)を身につけてもらうことを目的として、11月28日から2泊3日の行程で実施しました。今回は、尼崎を拠点に、グループ別に行きたいところへ自分たちでルートを調べて巡る企画で、丹波と尼崎の小学生27人が参加しました。特に丹波の子どもは、自動改札機や複雑な乗り換えは初めてなので無事目的地に到着できるかなと不安でしたが、子どもたちは道に迷っても駅員や通行人に行き方を尋ね、神戸の南京町や海浜水族園、大阪通天閣や天王寺動物園などを楽しみました。日々に来年も是非やってねと言って帰って行った子どもたち。親元を離れ、自由に何処にでも行けるこの探検事業で、宿舎に戻って丹波と尼崎の子で枕を投げあったのが一番の楽しい思い出となつたのでしょうか。



県立兎和野高原野外教育センター

ネイチャートレッキング～新緑をもとめて～

森の動物たちが冬眠から目覚め、木々や植物が芽吹きはじめたこの季節に、兵庫県立兎和野高原野外教育センターでは、「新緑ハイキング」を行っています。往復約9キロあり、木の殿堂、但馬高原植物園を経由するコースを設け、誰でも気軽に参加していただけます。但馬高原植物園内をゆっくりと散策し、新緑の兎和野高原を歩きながらネイチャーゲームやアスレチックなどを楽しみ、自然と触れ合い、心身ともにリフレッシュしていただけるハイキングです。

広大でなだらかな自然とのふれあいの森には、遊歩道が整備されており、イベント以外の日にでも、気軽にハイキングや自然散策を楽しむことができます。森の中には子どもたちに大人気のフィールドアスレチックや芝生広場があり、澄んだ空気と爽やかな風が吹きぬけ、鳥のさえずりや新緑の木々の息遣いが聞こえてくるようです。また、樹齢約500年といわれている大力ツラがあります。その根元からとてもきれいな水が滾々と湧き出ています。

年間を通して、子ども、家族、ご年配の方まで楽しんでいただけるイベント、そして、四季折々の兎和野高原を満喫していただける施設になっておりますので、多くの方のお問い合わせ、ご利用をお待ちしております。



兎和野大力ツラ

県立神出学園



兵庫県立神出学園は、平成6年10月に全国初の10代後半の不登校・中退の子どもたちの自分探しと進路支援のための県立の支援施設として設置され、今年で開設16年目を迎えます。

本学園は神戸市西区神出町にあり、5.6ヘクタールもの広大な敷地とチロル風の本館や宿泊棟、食堂棟、体育館などの建物を有しており、寮で気心の知れた仲間たちとの寝食を共にした共同生活や、個人の資質を高める様々なプログラムや体験活動を通して、自己の生き方や進路を見出すための支援を行っています。

本学園を修了した学園生は現在までに約400名となり、お互いに支え合い、自ら体験し、学び、経験しあう中で、円滑な人間関係を構築する能力を体得し、心身の元気を取り戻して、それぞれの生きる道を見出し巣立っていました。

このように、本学園は豊かな自然の中で、子どもたちが自らもう一度自分自身を取り戻せるように支援し、「不登校の人を元気にする」学園です。

ひょうご出会いサポートセンター

～カップリングから結婚へのエスコート(3回シリーズ)～を開催

ひょうご出会いサポートセンターは、「特別企画!婚活アドバイザーが導く幸せへの扉～カップリングから結婚へのエスコート(3回シリーズ)～」を開催しました。「出会いからプレデート編」「交際スタート編」「幸せな結婚編」の3回シリーズ。

カップリングから結婚までの道のりでの、互いの理解を深めるためのコミュニケーション力アップをめざすアドバイスを組み込んだセミナー&交流会です。

参加者は、コミュニケーション力をアップさせる方法を講義と実践の形式で学びつつ、交流を深めました。この他にも、サポートセンターでは、ほぼ毎週多彩な交流会を開催しています。

随時会員を募集しています。詳しい要件などはお問い合わせください。



県立山の学校

「県立山の学校」は、豊かな森が広がる宍粟に平成5年1月に開校しました。教育目的は「たくましく生きる力を培い、自信と勇気をもって兵庫の未来を切り開く、こころ豊かな青少年を育成すること」です。

平成21年度は次の活動を行います。

1 「山の学校」に関する活動

15歳から20歳までの県内在住の男子を対象に、1年間の寮での共同生活と、自然をフィールドとしたさまざまな体験活動などを通して、より良い人間関係を育みながら、進路実現に向けて「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援していきます。

2 山の学校のノウハウを活用した活動

(1) 人生まなび塾2009

〈対象〉15～34歳程度の男女 〈回数〉前期5回、後期5回の2回募集

〈内容〉自然の中でのさまざまな体験活動を通して、生きていくことや働くことのすばらしさ、魅力をつかみ取り、自らの適性にふさわしい進路を見いだしていくように支援する体験型のプログラムです。



チェーンソーでの間伐実習

(2) チャレンジ体験山の学校

〈対象〉12～25歳の男女 〈期間〉参加者のニーズに応じて随時設定

〈内容〉本校の体験活動を中心としたカリキュラムを活用して、進路選択等を考える機会を提供します。

(3) 相談業務:青少年への電話相談及び訪問相談

県立いえしま自然体験センター

いえしま漁業体験＆味覚満喫

いえしま自然体験センターでの活動とは、どうしても夏のイメージが強いのですが、春や秋はもちろん、冬から早春にかけても「いえしま」は楽しさいっぱいなんかもり!です。

そこで、冬から早春にかけての「いえしま」の魅力を広くPRするため、1月と2月には、漁業協同組合など地元の皆さんとの協力を得ながら、海苔の摘み取りや海苔の佃煮作り体験のほか、とれとれの海の幸を満喫する浜の「磯焼き」など豪快な漁師料理を体験しました。

また3月には、最盛期を迎えた「いかなご漁」の水揚げや加工工場を見学し、新鮮な「いかなご」でクギ煮作りに挑戦するなど、「いえしま」のこの時期しか体験できない魅力いっぱいのプログラムを毎月3回シリーズで展開しています。

漁業や海の自然・環境について親子で考える機会であったり、旬の海の幸を満喫してもらったりと、とても好評です。



「こうのとりの会」会員100組目の成婚カップルの誕生

兵庫県内の調和ある発展を目指して、県内農山漁村部の男性と都市部などの女性との出会い・交流の場を提供し、豊かな自然の中で共生する新しいライフスタイルづくりを支援する「こうのとりの会」(会長:井戸知事)では、平成11年10月の交流会開始から9年が経過しました。

この間、会員数は男女合わせて3,200人を超えるとともに、各会員が様々な交流会に参加して交流を深めるなか、平成20年12月に100組目の成婚カップルが誕生しました。

100組目の丹波市山南町在住の瀬川純司さんと、丹波市柏原町出身の麻利さんは12月16日に井戸知事に結婚を報告し、知事よりお祝いの色紙「望」と花束が贈呈されました。

こうのとりの会では、随時、会員を募集しています。



子どもの冒険ひろば

幼児や小学生の参加者を中心に公園や空き地を利用して出来るだけ、禁止事項等を減らし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ということを基本に何でも自由な遊びができる場です。

子どもたちの想像力・好奇心をもつて遊びは千差万別!こころの底からの笑顔を見ることができる場として地域に根差してきています。指導者ではなく子どもたちが本気で遊ぶことのできる環境をつくり、子どもたちを見守るブレーリーダーがいます。今日も県内の様々な冒険ひろばで歓声がこだましています。



お問い合わせ先

県立いえしま自然体験センター

〒672-0100 兵庫県姫路市家島町西島
TEL 079-327-1508・1509 FAX 079-327-1461
<http://www.shizen-ieshima.com/>

県立兎和野高原野外教育センター

〒667-1336 兵庫県美方郡香美町村岡区宿791-1
TEL 0796-94-0211(代) FAX 0796-94-0212
<http://www.uwano.jp/>

県立神出学園

〒651-2304 神戸市西区神出町小東野30番地
TEL 078-965-1122 FAX 078-965-1123
<http://www.kande-gakuen.jp/>

県立山の学校

〒671-2515 兵庫県宍粟市山崎町五十波430-2
TEL 0790-62-8088 FAX 0790-62-9733
<http://www.seishonen.or.jp/yamanogakkou/>

(財)兵庫県青少年本部

TEL 078-891-7410 FAX 078-891-7418

出会いサポートセンター (財)兵庫県青少年本部内
TEL 078-891-7415 FAX 078-891-7418



県立山の学校 学校説明会

内 容 学校概要説明、学校紹介ビデオ、質疑応答、個別相談 等
実施日・実施場所 5月10日(日)姫路市、5月24日(日)神戸市、6月7日(日)加東市、6月21日(日)宝塚市、7月26日(日)本校、9月6日(日)丹波市、10月11日(日)朝来市、12月23日(日)本校、1月10日(日)明石市、1月24日(日)本校
参加対象 入学希望者、保護者、教職員、本校に関心のある方
参 加 費 無料
申込方法 電話でお申し込みください。



県立山の学校 平成21年度人生まなび塾参加者の募集について

内 容 次世代を担う若者たちに、コミュニケーションの場や多様な職業、匠の技等に触れる機会を提供することによって、青少年が自らの適性にふさわしい進路を見いだしていけるよう支援する体験型プログラムです。
前期：5月17日(日)開講式・工場見学、5月29日(金)登山、6月26日(金)刈り払い機体験等、7月20日(月・祝)竹細工、8月9日(日)閉講式
後期：8月9日(日)開講式・工場見学、9月13日(日)ハイキング、10月16日(金)間伐体験等、11月15日(日)キムチ漬体験・寄せ植え等、12月6日(日)閉講式
対 象 15歳～34歳程度の若者(男女不問)
募集人員 各プログラムごとに20名まで
参 加 費 1,000～2,000円程度
申込期間 各プログラム実施日の10日前まで
申込方法 FAX、郵送またはEメールにて申し込み



県立山の学校 平成21年度4月生の追加募集について

募集対象 豊かな自然の中で、様々な体験活動を通して自分の生き方を見つけて、たくましく生きる力を培いたいと考えている、中学校を卒業した15歳から20歳までの県内在住の男子若干名
修学期間 1年間(全寮制)
授業料 無料(ただし、食費、研修費、教材費等の実費が必要)
願書受付 平成21年6月末まで随時受付
選考日 平成21年6月末まで随時実施
申込方法 電話でお申し込みください。
問合せ先 県立山の学校(兵庫県山崎町五十波430-2)
TEL0790-62-8088 FAX0790-62-9733



県立神出学園 平成21年10月生(31期生)の募集について

募集対象 中学校を卒業した県内在住の20歳未満の男女で、不登校等により進路発見が困難な状況にありながらも、自分の生き方や進路を見つけてみたいという意欲を持ち、体験学習や寮での共同生活ができる人(高等学校在籍者は休学必要、ただし通信制高等学校在籍者は休学不要)
年齢35名程度
募集人員 在籍期間 2年以内(全寮制)
授業料 無料(ただし、食費、活動費など月額45,000円が必要)
願書受付 平成21年8月12日(水)～平成21年9月15日(火)を予定
問合せ先 県立神出学園(〒651-2304神戸市西区神出町小東野30)

**キミの未来を、
キミの手で創ろう。**
www.jotc.jp

Search jotc

GO!



職業訓練・就労支援
シェイオーティーシー
株式会社 JOTC

〒657-0856

兵庫県神戸市灘区岩屋南町4-36(R2沿い)

TEL : 078-871-1212

FAX : 078-871-1215

研修内容 ●ビジネスマナー●PC実習
●安全教育●溶接●旋盤●金属加工●
測定技術●製作実習●玉掛●クレーン
●フォークリフト●キャリアデザイン
●工場見学 他



“エコツアーや春満喫” カメラで散歩inいえしま＆家島の魚料理体験

主 催 兵庫県立いえしま自然体験センター
内 容 プロのカメラマンを講師に招き、「いえしま」の美しい自然を撮影し、画像処理方法などを個別アドバイスを受けながら作品を鑑賞する。食事は特別料理で春の味覚を満喫!
実 施 日 平成21年4月25日(土)
実施場所 兵庫県立いえしま自然体験センター
参加対象 親子・家族、一般 募集人数 20人(先着順)
参 加 費 中学生以上7,000円、小学生以下6,000円(昼食・夕食の特別料理代を含む。往復船賃は別)
申込方法 「兵庫県立いえしま自然体験センター」まで直接電話で申し込み



春のエコフェスタinいえしま

事業名・実施日・参加対象等

事業名	実施日	参加対象	募集	参加費用	内容
いえしま自然 体験センター “春まつり”	5/2(土) [日帰り]	親子・家族	120人	中学生以上1,000円 小学生以下 500円 (但し、往復船賃は別途必要)	カヌー・カヤック体験や磯観察、ハイキングなど、親子で“いえしま”的自然と触れあう一日体験キャンペーン
春の 親子自然体験	5/3(日)～ 5/6(祝)	親子・家族	100人	中学生以上13,000円 小学生以下12,000円 (但し、ロッジ、往復船賃は別途必要)	カヌー・カヤック、磯遊び、野外クッキングなど、ゴーランドブイーグル親子でゆったり過ごし家族の絆を深める。バーベキューも楽しめる。
春の 親子ヨット教室	5/3(日)～ 5/6(祝)	一般 親子・家族	20人	中学生以上20,000円 小学生以下19,000円 (但し、往復船賃は別途必要)	ヨットの操縦技術や安全確保についてのノウハウを学びながら、親子・家族でいえしまの海を満喫。

実施場所 兵庫県立いえしま自然体験センター

申込方法 「いえしま自然体験センター」まで電話で申し込み

問合せ先 TEL079-327-1508、1509



ネイチャートレッキング～新緑をもとめて～

主 催 兵庫県立兎和野高原野外教育センター

内 容 新緑の兎和野高原を歩き、自然と触れ合いながら、心と体をリフレッシュする。

実 施 日 平成21年5月17日(日)

実施場所 兵庫県立兎和野高原野外教育センター

参加対象 一般(6歳以下は保護者同伴)

募集人数 定員100名(先着順)

参 加 費 大人(18歳以上)未定、小人(18歳未満)未定

申込方法 申込書を持参、郵送またはFAX。

問合せ先 兵庫県立兎和野高原野外教育センター TEL0796-94-0211 FAX0796-94-0212



こころ豊かな人づくり500人委員会 第11期生募集(受講料無料)

開催期間 平成21年6月～平成23年3月 受講料 無料

募集対象 県内在住・在勤 概ね20歳以上 青少年育成活動や地域づくり活動に意欲のある人

募集期間 平成21年4月1日(水)～5月22日(金)

応募・問い合わせ先 各地方青少年本部



阪神・淡路大震災から学んだ助け合いの制度

フェニックス共済 ～兵庫県住宅再建共済制度～

(個人加入)

年額
5,000円

負担金

最高
600万円

自然
災害
発生

給付金※

(マンション
管理組合加入)

年額
2,400円
×住戸数

最高
300万円×住戸数

※半壊以上の被害を受けて
再建、購入、補修した場合

(財)兵庫県住宅再建共済基金 TEL078-362-9400(平日9:00～17:00)

ホームページは、「フェニックス共済」で検索ください。

お知らせ

「青少年活動ボランティア」登録者を募集しています

子どもたちの体験活動を支えたいと考えている人々やもっている技術・学習成果を青少年活動に還元する場を求めている人が多数いる一方で、スタッフ不足の問題を抱えている団体やグループも少なくないという現状があります。そのため(財)兵庫県青少年本部では「青少年活動ボランティア」の登録者を募集し、登録者に対して青少年活動情報を発信しています。

[対象者] 青少年活動ボランティアに関心のある方(主として青年)

[登録料] 無料

[問合せ・申込み先]

(財)兵庫県青少年本部 青少年活動コーディネーター

☆各地方本部でも登録者を受付中

賛助会員を募集しています

次代を担う青少年を育成するために、みなさんのご協力が必要です。会費は青少年育成活動に充てさせていただきます。

会 費 賛助会員(個人) 年額1口 2,000円
 賛助会員(団体) 年額1口 10,000円

◎ご入会の手続き等については、下記までお問合せください。

(財)兵庫県青少年本部	078-891-7410	中播磨青少年本部	079-281-9198
青少年本部神戸事務部	078-382-8249	西播磨青少年本部	0791-58-2130
阪神南青少年本部	06-6481-4634	但馬青少年本部	0796-26-3648
阪神北青少年本部	0797-83-3138	丹波青少年本部	0795-72-5168
東播磨青少年本部	079-421-9105	淡路青少年本部	0799-26-2048
北播磨青少年本部	0795-42-9352		